新宿経済新聞

歌舞伎町で「ガム取り」活動8年目 - NPO法人「環境まち づくりネット」

2014年10月10日

★ウイート 〈25

日おすすめ シェア〈1

g+1 < 1



「ガム取り棒」を持つ 荻野黒昭さん

受写真を拡大



●地図を拡大

NPO法人「環境まちづくりネット」は、毎週水 曜日、歌舞伎町の歩道に落ちているガムの除去作 業を行っている。取り組みを始めて8年になる。

☆ 棒の手元を操作して先端から溶剤を出し、スク レーパーでこそげ取る

15時に新宿区役所本庁舎(新宿区歌舞伎町1) 前を出発し、歌舞伎町1丁目と2丁目の境にある花 道通りの一部を40分程かけて清掃する。新宿区が 主催する路上清掃活動「歌舞伎町クリーン作戦」 と合同で行い、区役所の職員も参加する。使うの は、立ったままの姿勢でガム取りができる専用機 具「ガム取り棒」と、先端に取り付けた除菌剤入 り溶剤「ガム取り一番」。いずれも、同NPO理事 長の荻野善昭さんが代表取締役をつとめる株式会 社オギノ(新宿区)の製品だ。

以前は衣料品店を経営しており、店の前に落ちていたガムに悩まされ ていたという荻野さん。「新宿を再び『歩きたいまち』に」という思い からガム取りを始めたが、既製品のヘラを使いかがんで行う作業は体へ の負担が大きく溶剤の扱いにも危険が伴うことから、安全な道具の開発 に乗り出す。歌舞伎町の環境改善を推進する中山弘子区長に完成品を寄 贈したのをきっかけにNPOを設立し、活動を開始する。

作業に同行して足下に視線を下ろすと、至る所にガムが作った黒い染 みがあることに改めて気付かされる。「こんなに汚れる場所もそうはな い」と話す荻野さんは、「池袋でも同じ活動をしているが、月1回にもか かわらずほぼきれいになる。 (歌舞伎町は) 毎週同じ場所でガム取りを しているのに、同じだけのガムが取れる。誰かが捨てているというこ としとやるせなさものぞかせた。

それでも「無理をせず続けていきたい」と荻野さんは淡々と語る。 2020年オリンピック・バラリンピック開催に向け、"きれいな東京"を目 指して進化したガム取り棒を開発するプランもあり、「まだ6年ある」と 意気込んだ。

- (関連画像) 「歩行者専用」の通行止標識にもガムがびっしり。
- (関連画像)取ったガムは毎回計量し、毎月区長に報告する
- NPO法人 環境まちづくりネット
- 株式会社 オギノ

新宿経済新聞

歌舞伎町で「ガム取り」活動8年目-NPO法人「環境まち づくりネット」

2014年10月10日

ジッイ−ト {0

計 おすすめ シェア { 0 8+1 < 0



「歩行者専用」の通行止標識にもガムがびっしり。「掃除しないと歩道 もこういう状態になる」と荻野さん(2014-10-10)

歌舞伎町で「ガム取り」活動8年目 - NPO法人「環境まち づくりネット」

2014年10月10日

ジツイート ⟨0

計 おすすめ シェア **0 8+1 0**



取ったガムは毎回計量し、毎月区長に報告する(2014-10-10)